

ガ ド ラ ッ ク ラ テ ッ ク ス
仕 様 書

水系 木材保護塗料

< JASS 18 M-307 材料規格品 >

和信化学工業株式会社

平成 年 月 日

ガードラックラテックス

木材は、非常に美しい素材ではあるものの、限られた天然資源であります。素材の持つ美しさを出来る限り長く保ち、大切に使用していかねばなりません。木材を使用するにあたって、「美観」と「保護機能」を長期に持続させる為には、紫外線や風雨に耐え、腐朽菌・カビ・白蟻 等による害から守る為の処理が重要となります。さらには、これらの処理に起因する自然環境や安全面への配慮も重要な課題であります。

『ガードラックラテックス』は、これら課題を充分考慮し、お客様からのニーズに答えるべく開発された塗料です。特長として、屋外耐候性に優れ、防腐・防カビ・防虫機能を付与させております。塗りやすく、その仕上がりは木地感を活かした鮮やかなものとなります。又、『JASS 18 M-307 木材保護塗料 材料規格』にも相当し、非常に安全性の高い、お客様の使いやすさを追求した屋内外向け水系木材保護塗料であります。

ガードラックラテックスは、日本建築学会が定める
< 建築工事標準仕様書 JASS 18 塗装工事 M - 307 木材保護塗料 材料規格 >
に相当する水系木材保護塗料です。

§ カラーラインナップ

| | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| L X - 1 ブラック | L X - 2 オレンジ | L X - 3 チーク |
| L X - 4 ワインブラウン | L X - 5 チョコレート | L X - 6 グリーン |
| L X - 7 オリーブ | L X - 8 ハニーメープル | L X - 9 オーク |
| L X - 10 マーロン | L X - 11 グレー | L X - 12 ホワイト |
| L X - 13 白木色 | L X - 14 マゼンタ | L X - 15 レモンエロー |
| L X - 16 セイルブルー | L X - 17 ナチュラル | 計17色 |

また、これらを混ぜ合わせて調色することも可能です。

尚、色を薄くしたい場合、樹脂量・薬剤量はそのままに、透明の専用希釈剤

「ガードラックラテックス レジューサー」も用意しております。

レジューサーだけで屋外には塗装できませんのでご注意ください

§ 特 長

薬剤効果が高く持続性のある新世代塗料

マイクロカプセルを利用した、木材をカビ・腐朽菌・白蟻等から守る水系タイプの木材保護着色塗料です。これらの効力を有する薬剤をカプセル化することにより、優れた薬剤効果とその抜群の持続性を実現しました。

高い安全性

- ・厚生労働省指定の毒物・劇物、消防法の危険物に該当しません。
- ・急性経口毒性 LD₅₀値 2,000 mg/kg以上 マウス雌雄

LX-8ハニーメープル色にて外部機関にてテスト

低臭

水系塗料とすることで、極めて高い低臭化を実現致しました。嫌な臭いの原因の一つとなる薬剤をカプセルで包み込むことにより、更に安全性を高め、屋内への塗装も可能となりました。

優れた耐候性

厳選した顔料・樹脂・薬剤等の組み合わせにより、優れた耐候性を有し、木材を美しい状態で守り続けます。

優れた塗装作業性で美しい仕上がり

優れた塗装作業性を有し、透明性の高い木目を活かした鮮やかな仕上がりとなります。また、原液のまま使える一液タイプで、取り扱いが簡単です。

§ 用 途

屋内外の木部全般に塗装できます。

外壁，フェンス，エクステリア遊具，屋内壁 等。

§ 使用方法

1. 使用前によく攪拌して、中身を均一にしてください。
2. 原液のままお使い下さい。色を薄くしたい場合にはレジューサーで希釈して下さい。ただし、色が薄くなるに従い耐候性が劣る傾向があります。
3. 木材内部まで良く浸透させる為、刷毛にたっぷりつけてすり込むように塗装して下さい。
4. 標準塗装回数は2回で、1回目 $50 \text{ g} / \text{m}^2$ 2回目 $50 \text{ g} / \text{m}^2$ が目安です。
素材の吸い込み具合により塗布量は変わりますが、耐候性を高める為なるべく塗布量を多くして下さい。ケースによっては3回塗りをお奨めします。

§ 塗料性状

| | | |
|-------|--------------------|----------------------------------------------------|
| 外 観 | 各 色 液 体 | |
| 粘 度 | 13秒 ± 2秒 | 4フォードカップ / 25 |
| 密 度 | 1.04 ~ 1.08 ± 0.02 | 25 / ウェイトカップ |
| 不揮発分 | 16.4 % ~ 21.3 % | 計 算 値 |
| VOC量 | 0.23 % ~ 0.51 % | 計 算 値 世界保健機構 (WHO) における揮発性有機化合物VOC規定 沸点50 ~ 260 |
| 凍結安定性 | 異 状 な し | -15 ・ 室温 凍結融解5サイクル |
| 保管安定性 | 異 状 な し | 50 1ヶ月保管 |

§ 乾燥性目安

杉単材 塗布量 $40 \sim 60 \text{ g} / \text{m}^2$ 気温 / 湿度 = 20 / 60 %
乾 燥 1 ~ 2 時間 (1回 2回目 塗り重ね可能時間)

乾燥時間は塗装状況により変わりますので参考として下さい。吸い込みの少ない素材では特に2回目の乾燥に時間がかかる事がありますのでご注意下さい。
換気をよくして養生して下さい。換気が悪いと乾燥が遅れる事があります。

§ 塗膜性能

| 項目 | 結果 | 条件 |
|---------|---------|-----------------------------------------|
| 耐酸性 | | 5%酢酸水 スポットテスト 24H |
| 耐アルカリ性 | × 材黒変 | 5%炭酸ソーダ水 スポットテスト 24H |
| 耐水性 | | 水道水 スポットテスト 24H |
| 耐アルコール性 | | 60%エタノール水 スポットテスト 24H |
| 耐溶剤性 | × | 塗料用うすめ液 スポットテスト 24H キシレン スポットテスト 24H |
| 耐マジック性 | 黒 × 赤 × | 24H後ベンジン拭き取り |
| 耐クレヨン性 | 黒 赤 | 24H後ベンジン拭き取り |
| 耐インキ性 | 黒 × 赤 × | スポットテスト 24H |
| 促進耐候テスト | 異常なし | 杉材2回塗り キセノンWOMテスト 1000時間照射 |

耐薬品性テストはカバ合板に2回塗り 7日間養生後テスト
上記試験項目・結果は弊社試験要項に基づき行ったものであり、品質を保証するものではありません。

§ 防カビ効力

JIS及び日本木材保存協会規格を参考にした社内防カビ試験
3cm角杉材片にカビ孢子けん濁液を散布し28 / 95%にて1ヶ月
(実験室 シャーレの中での培養テスト)

菌株： A：リゾープス ストロニファー (クモノスカビ)
B：アスペルギルス ニガー (クロコウジカビ)
C：ペニシリウム シトリヌム (アオカビ)
D：オーレオバシディウム プルランス (黒色酵母)
E：トリコデルマ ヴィリデ (ミドリカビ)

結果：検査した5種の菌全てにおいて、防カビ効力が認められる。

§ 塗 装 工 程 (例)

屋外 新規塗装(例)

| 工 程 | 使用塗料 | 乾 燥 時 間 | 塗 布 量 | 備 考 |
|-------|-----------------|----------|------------------------|------|
| 素地調整 | P 1 5 0 サンドペーパー | | | |
| 1 回 目 | 原 液 | 2 ~ 4 時間 | 5 0 g / m ² | 刷毛塗装 |
| 2 回 目 | 原 液 | 一晩養生 | 5 0 g / m ² | 刷毛塗装 |

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。

また、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

換気をよくして養生して下さい。換気が悪いと乾燥が遅れる事があります。

素材の状態や仕上がり感など目的によって3回塗りも可能です。

ケバ取りが必要な場合には軽くP 3 2 0 サンドペーパーにて研磨して下さい。

その際色が取れる可能性があります。色が取れた場合には、2回目塗装前に

タッチアップして下さい。

屋外 リフォーム塗装(例)

| 工 程 | 使用塗料 | 乾 燥 時 間 | 塗 布 量 | 備 考 |
|-------|--------------------------|----------|------------------------|------|
| 素地調整 | 高圧洗浄 P150 サンドペーパー-研磨 漂白等 | | | |
| 1 回 目 | 原 液 | 2 ~ 4 時間 | 5 0 g / m ² | 刷毛塗装 |
| 2 回 目 | 原 液 | 一晩養生 | 5 0 g / m ² | 刷毛塗装 |

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。特に痛みのひどい

木材の場合はよく染み込み、塗布量が多くなることが予測されます。

また、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

換気をよくして養生して下さい。換気が悪いと乾燥が遅れる事があります。

素材の状態や仕上がり感など目的によって3回塗りも可能です。

素材の状態によって、洗浄・研磨・漂白などをして下さい。痛んでスカスカした状態の木材は、削ってから塗装することをお奨めします。汚れがひどい場合は、そのまま塗るときれいな色が出ない事がありますので試し塗りして下さい。

屋内 新規塗装（例1）

| 工 程 | 使用塗料 | 乾 燥 時 間 | 塗 布 量 | 備 考 |
|-------|-----------------|----------|------------------------|------|
| 素地調整 | P 1 5 0 サンドペーパー | | | |
| 1 回 目 | 原 液 | 2 ~ 4 時間 | 5 0 g / m ² | 刷毛塗装 |
| 2 回 目 | 原 液 | 一晩養生 | 5 0 g / m ² | 刷毛塗装 |

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。

また、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

換気をよくして養生して下さい。換気が悪いと乾燥が遅れる事があります。

ケバ取りが必要な場合には軽く P 3 2 0 サンドペーパーにて研磨して下さい。

その際色が取れる可能性があります。色が取れた場合には、2 回目塗装前にタッチアップして下さい。

屋内 新規塗装（例2 耐久性重視塗膜仕上げ）

| 工 程 | 使用塗料 | 乾 燥 時 間 | 塗 布 量 | 備 考 |
|------|---------------------------|----------|------------------------|------|
| 素地調整 | P 1 5 0 サンドペーパー | | | |
| 着 色 | ワックス原液 | 2 ~ 4 時間 | 5 0 g / m ² | 刷毛塗装 |
| 着 色 | ワックス原液 | 4 時間以上 | 5 0 g / m ² | 刷毛塗装 |
| 上塗り | アレックス 3400 木部用ワックスクリヤー | 2 ~ 4 時間 | 100 g / m ² | 刷毛塗装 |
| 研 磨 | P 3 2 0 サンドペーパー | | | |
| 上塗り | アレックス 3400 木部用ワックスクリヤー | 一 晩 養 生 | 100 g / m ² | 刷毛塗装 |

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。

また、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

換気をよくして養生して下さい。換気が悪いと乾燥が遅れる事があります。

屋内塗装で、人の手足がよく触れる箇所等で耐久性を高める為には、水系クリヤー塗料の上塗りをお奨めします。

アレックス 3405 木部用ワックスを使用することで艶消し仕上げにもできます。

工程を短縮する場合は上塗りを1回塗装にできますが、肉持ち感は少なくなります。又、淡色になりますが、着色を1回にすることも可能です。

§ 使用上の注意

1. 原則として原液で使用して下さい。尚、薬剤効果はそのまま、淡色にしたい場合には基本的に「ガードラックラテックスレジューサー」で希釈して下さい。ただし、薄めすぎると耐候性低下の原因となりますので充分ご注意下さい。
2. ヤニやアク等樹液成分を多く含む木材や薬剤等を注入した加工木材に塗装した場合、変色や樹液成分の染み出しが発生する場合があります。本内容をご理解の上、事前に必ず試し塗りをを行い、塗装を行って下さい。
3. 本塗料は薬剤を包んだマイクロカプセルと顔料及び樹脂等から構成されており、保存状態によっては分離・沈降する場合がありますので、使用する前には充分攪拌して中味を均一にして下さい。
4. 塗料がプリン状に固まっている場合がありますが、異常ではありません。振とうすれば流動性が戻り使用出来るようになります。
5. 塗膜性能が充分に出ないうちに雨や水がかかると塗膜が溶けたり、痕が残ったりすることがありますのでご注意下さい。
6. 塗膜の乾燥性は、気温や湿度、風の有無により大きく異なります。
5 以下の環境での塗装・養生を避けて下さい。
7. 塗料の安全性には充分注意しておりますが、作業の際はできるだけ換気を良くして塗装して下さい。
8. 作業は眼鏡・手袋・エプロン等の安全保護具を着用し、皮膚に付着した場合は石鹼水でよく洗い流して下さい。
9. 目や口に入った場合は、多量の水で洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。
10. 塗料容器・塗装用具は水で洗えますが、残塗料・洗浄した水は、下水・河川に捨てないで下さい。
11. 塗料の保管は密閉し子供の手の届かない冷暗所にして下さい。
また、塗料を凍らせないように注意して下さい。
12. 刷毛等の塗装道具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗ってください。
一旦乾いてしまうと水では落ちませんので注意して下さい。
13. 素材や設置する方角などの条件により耐候性能に差が生じることがあります。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート（SDS）をご参照下さい。